



投稿フォトギャラリー

撮影者 撮影日 撮影場所

朝の佛通寺

◎酒井勝司さん ◎平成25年11月
◎佛通寺(高坂町許山)



新高山城址の晩秋

◎島田博司さん ◎平成25年12月
◎新高山(本郷町船木)



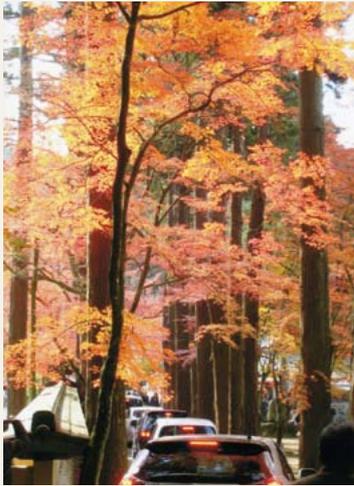
瀬戸の朝日

◎元岡太一さん ◎平成25年11月
◎古浜二丁目



紅い通

◎山口梢さん ◎平成25年11月
◎佛通寺(高坂町許山)



投稿写真を募集

テーマ ～みはらの四季、みはら再発見、みはらの新たな観光スポット～

応募期限 6日(月)(必着)
応募資格 市内に在住か通勤・通学の人
募集枚数 1人1枚
選考 秘書広報課で選考
※投稿写真の著作権は市に帰属します。

※投稿写真の返却は行いません。
※広報誌で紹介できなかった写真は、市ホームページへ掲載することもあります。
申し込み 郵送またはEメールで、写真データか写真(L判サイズ)と、①撮影

者名②住所・電話番号③撮影日④撮影場所⑤作品名を秘書広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848-67-6007 hishokoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ



▲観光客を温かく出迎えます

「笑顔を決やさず、島ぐるみで観光客を歓迎したい」。こう話すのは、県の「観光地ひろしま! おもてなしアワード2013」を受賞した「さぎしまを愛するボランティアガイド」会長の開本益夫さん。平成18年の結成以来、「共に喜び合えるガイド」を合言葉に、佐木島を訪れた観光客の案内や、島全体でおもてなしができるよう島民への呼び掛けを続けています。

おもてなしの秘訣は郷土愛

取材のため、港に到着すると、皆さんが名前入りの手作りボードで温かく迎えてくれました。「活動を通じ、自然や風土など、島の良さに改めて気づき、誇りをもてるようになった」と事務局長の奥野征代さん。副会長の土田美千恵さんは「島には、先人達が大切に守ってきた自然があり、人と人とのつながりが強い。だからこそ活動を続けられる」と話します。島を愛する気持ちから結成された「さぎしまを愛するボランティアガイド」、島の魅力をおもてなしの心で伝えていきます。



さぎしまを愛するボランティアガイドの皆さん



さまざまな分野でがんばる、キラリと光る人や活動を紹介します。